



かみひら小だより

学校通信 特別号

学校教育目標「心豊かで強い意志を持ち
自ら学ぶ健康でたくましい子」の育成

令和8年3月13日

上尾市立上平小学校

学校ホームページは、上尾市 上平小 検索 スマホからもどうぞ!

発行責任者 校長 中島晴美



1年間ありがとうございました

さらなるウェルビーイングな学校へ向けて ~学校評価から~

校長 中島 晴美

いよいよ令和7年度のゴールも目の前に近づいてきました。今年度も学校教育目標「心豊かで思いやりがあり、自ら学ぶ健康でたくましい子」目指す学校像「笑顔と思いやりあふれ、児童一人一人が生き生きと活動する楽しい学校~ウェルビーイングなコミュニティ・スクール『チーム上平小』」を目指し、全力で教育活動に取り組んでまいりました。本年度は学校課題研究も本格的に進み、子どもたちのポジティブな変容や学力向上等で、大きな成果を見ることができました。これも、本校の教育活動に、ご理解ご協力、お力添えいただきました保護者・地域の皆様のお陰です。一年間ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

今年度は、パンデミックにより入学式を執り行うことができなかった学年の子どもたちが卒業の日を迎えます。子どもも大人も困難や変化を乗り越え適応し、大変頑張った6年間でした。この6年間、教育現場は大きく変化しました。変化の大きい社会状況・気候変動・テクノロジーの急速な進化・少子化等様々な要因から、学校現場においても変革が必要不可欠な時となりました。本校においても様々な変化を受け入れ、「不易と流行」「調和」を大切に熟考しながら、子どもを中心に置き、子どもたちが今と未来の幸せを創造する力を培う教育活動を展開してまいりました。

今年度の学校評価の結果を熟考し、来年度もよりよい教育活動を展開していけるよう邁進してまいります。保護者・地域の皆様におかれましても、「チーム上平小」の一員として引き続きご理解ご協力、お力添えいただけますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

1 学校評価とは

1年間の教育活動を振り返って評価を行い、次年度の更なる教育活動の充実を図るための『学校全体の評価』です。この『学校評価』は、学校教育法等の法令に、その実施と結果の公表が義務づけられているものです。学校の教育活動に対して、教職員が自己評価を行い、その結果の説明責任を果たし、見通しを持ちながら、家庭や地域との連携関係を構築していくことを目的としています。

2 『学校評価』の構成

①教職員による『自己評価』

学校の教職員自身が、実施してきた教育活動を自ら振り返って評価し、次年度への改善策を検討します。その際に、保護者や児童の意見を参考にするために、アンケートを実施します。12月にアンケートのご協力いただいたのは、このためです。アンケートの結果は、自己評価を行う際の、重要な要素として活用させていただきました。

②学校関係者評価委員会による『学校関係者評価』

保護者や地域の代表の方々が構成された学校関係者評価委員会において、『自己評価』の結果や改善策に妥当性があるか評価していただくものです。『自己評価』の客観性や透明性を担保するものとして位置づけられています。なお、保護者や地域の代表ということで、多くの学校と同様に上平小学校でも、学校運営協議会の委員の方々に、学校関係者評価委員も併せてお願いして、『学校関係者評価』を実施していただいています。

3 『学校評価』の内容

- 6つの『領域』、20の『項目』について評価しています。 ○A・B・C・Dの4段階で評価しています。
- 評価書の左側は『自己評価』で、右側が『学校関係者評価』の結果となっています。
- 『学校関係者評価』の結果が『自己評価』と同じ場合は、『自己評価』が妥当であるとの評価で、『自己評価』と違う場合は、修正した方がいいという評価です

令和7年度 学校評価 評価書

上尾市立上平小学校

領域・項目毎の評価結果 評価基準A,よくできている B,だいたいできている C,あまりできていない D,できていない
 A: 職員の評価の割合が85%以上かつC以下の評価がない, C-D: 職員の評価の割合がそれぞれを足して50%以上かつかつC, Dの割合の多い方 B: A-C-Dに属さないもの
 ※()は昨年の学校評価の結果

は、10ポイント以上アップ □は20ポイント以上あるもの
 は、10ポイント以上ダウン

領域	自己評価の評価基準	評価	職員、児童、保護者のアンケート結果を合わせた考察を記入してください。	アンケート対象者	A	B	C	D	学校関係者評価			
									評価	学校関係者評価委員の意見・提言		
I 学校経営・学校教育目標	<p>1 ■ 学校教育目標や目指す学校像・児童像の具現化に向かって、学校(学年・学級)運営や学習指導、その他の教育活動の工夫改善に取り組んでいる。</p> <p>2 ■ 自己の職務の役割を認識し、組織の一員として心理的安全性のある職場にしようとする、職場のウェルビーイングを高めるよう努め、学校運営に参画している。</p> <p>3 ■ 児童のよい点を積極的に認め、称賛し、必要な時にはしっかりと指導し、一人一人の児童を伸ばすことを念頭に教育にあたっている。</p>	B (B)	<p>・項目2番について、職員のウェルビーイングへの理解が深まったり、管理職の先生が調整を下さったりしていることで、職場のウェルビーイングが高まっていると考える。それが児童に反映されており、保護者も児童を通してそう感じているのではないかと、心理的安全性を高める教育風土を教員、児童、保護者が一丸となって取り組むことができた。</p> <p>・項目3番について、職員、児童の評価は一致しているが、保護者ととの評価に差がある。保護者に伝えるために、個人面談、他連絡の際に、児童の良いところを付け加えるようにする。</p> <p>・教職員の指導について、意識が変化してきている。前年度平均より今年度平均の教員が上昇しているため、今後も継続的に行うべきである。</p> <p>・ウェルビーイングを土壌として、児童に繰り返しポジティブな言葉を使うことにより、前向きな言動が見られている。</p>	職員 児童 保護者	50 (60)	50 (40)	0	0	A-5 B-2 平均 4.7 A	<p>・ウェルビーイングが教育現場に浸透している。校内や学校通信等で必ず「ウェルビーイング」を目にする中で、保護者にも目指す学校像や目標が理解されている。</p> <p>・校長の指導力が大変良いと思う。</p> <p>・校長を中心にチーム上平小として、着実に成果をあげている。また、教育活動の工夫改善が実感できる。</p> <p>・目標に向けて、授業の工夫が感じられる。学校全体の雰囲気も以前より明るくなったように思う。</p> <p>・目指す学校像・児童像がはっきりしており、それに向かって努力し、成果を出している。</p> <p>・年々ウェルビーイングの意識と活動が高まっていると感じ取れる。</p>		
											A-4 B-3 平均 4.6 A	<p>・ウェルビーイングが教職員の見え方を高めているように感じる。統一した意識改革への努力を感じる。</p> <p>・年々ウェルビーイングの意識と活動が高まっていると感じ取れる。</p>
<p>学校関係者評価</p> <p>学校関係者評価委員の意見・提言</p>												
II 学習指導(学力向上)	<p>4 ■ 主体的・意欲的に教職員研修に取り組み、教材研究や指導方法の工夫改善に努力し、主体的・対話的で深い学びのある授業の実践、及び基礎学力の定着に努めている。</p> <p>5 ■ 読書活動の取組を充実させ、児童は本に親しむことができている。</p> <p>6 ■ 児童の英語に関わる学習への興味・関心を高める授業及び日常の取組を実践している。</p> <p>7 ■ 学習効果が高められるよう、ICT端末を積極的に活用したり、情報モラル等の指導の充実を図ったりして新たな学びを創り出している。</p> <p>8 ■ 一人一人が生き生きと自分の思いを表現できるよう、言葉を大切にしたい心理的安全性のある学級作りに努めている。</p>	B (B)	<p>・項目4番について、学級事務の時間がより増えたと、教材研究や授業準備の時間に充てることができると考える。児童が「できるようになった」「授業が楽しい」と家庭で話すように授業を充実させている。</p> <p>・項目5番と6番について、学校での取り組みは充実している(図書室のイベント、E-cafe、講話朝会)が、家庭に浸透していない。取組の回数を増やしたり、お便り等で伝えたりしていく必要がある。</p> <p>・項目7番について、家庭での使用状況を見ると、情報モラルが足りていないと感じていると考えられる。自主研修を実施したことで、教職員の取組が充実した。ICTの活用研修は随時行っていきたい。学年ごとの指導事項を整理した年間指導計画があると、情報モラルについても学校全体でさらに取り組んでいく。</p> <p>・タブレットの活用により、自主的な学習や復習を行う児童が増えているのではないかと、また、それを家庭で保護者がみていることが、評価の増加につながったのではないかと考えられる。ICT活用は、教員、保護者ともにまだまだ活用に課題があるので、積極的に持ち帰り、活用の幅を広げていく必要がある。</p> <p>・読書活動は、児童と教員は本に親しんでいると感じているが保護者はそう感じていない。本を持ち帰る機会を増やしていくほうがよい。</p> <p>・読書活動の充実を図るために、読書サポートを有効に活用したり、高学年が低学年の読み聞かせにいたりするとよいと思う。「生き生きタイム」や「ごいごいタイム」の取組を引き続きバージョンアップして取り組みたい。</p>	職員 児童 保護者	47.8 (55)	47.8 (40)	4.4 (5)	0	A-4 B-3 平均 4.6 A	<p>・授業参観の際に、保護者への指導方法や工夫をまとめた物を配布し、参観してもらって、先生方の取組を理解してもらえたと感じる。</p> <p>・教室や廊下等に、色々なアイデアがなされている。</p> <p>・楽しい授業を展開する学習指導を通して、確実に学力向上が図られている。埼玉県学力・学習状況調査の結果から理解できる。</p> <p>・授業は工夫が多くなり、子供たちも楽しく参加している姿が見られた。</p> <p>・保護者からの評価の高まりを尊重したい。</p> <p>・毎年行われているテストの結果からも1年間大きな成果を上げていることを考えると、日々の努力の結果だと思う。</p>		
											A-1 B-6 平均 4.1 B	<p>・借りた本を家に持ち帰ってこない場合や、図書室を選んでいる場合があるので、家庭での読書、文章を読むなどルールがあると良いと思う。</p> <p>・図書室の本を少し増やすことも大切かと思う。</p> <p>・活発な読書活動により、子供たちの読書力や表現力が向上している。研究授業を参観して実感した。</p> <p>・図書室もきれいに飾りつけられ、季節や行事を感じられた。本を読むことが苦手な子どもにも本に触れ合う機会を持ってもらえるようになると良いと思う。</p> <p>・読書への取組は各家庭でも協力していく必要があると思う。</p>
<p>学校関係者評価</p> <p>学校関係者評価委員の意見・提言</p>												
A-2 B-5 平均 4.3 B	<p>・タブレットの活用が素晴らしい。今後が楽しみである。</p> <p>・教科、指導内容に応じた効果的なICTの活用については、なお一層の工夫・改善を図ってほしい。</p> <p>・タブレットの使い方もスムーズに行っている様子で驚いた。教科書、タブレット等を置には、机が狭いように感じた。</p> <p>・時代と逆行しているかもしれないが、ノートをとる、辞書を引き出すことも大切なことかと思う。特に小さい頃、身に付けてほしい習慣である。</p> <p>・ICT端末を活用した学習効果を、徐々に高められていると思う。更なる効果を期待する。</p> <p>・現場の先生方の自己評価の高まりを尊重したいし、参観しても普通に授業で使っている児童を見ていても感じる。</p>											
		A-1 B-6 平均 4.1 B	<p>・知識・技能を確実に定着させるために、ICTは有効的な手段だと思っている。</p> <p>・自分に考えや思いを表現できる児童が増えている。指導の成果だと思う。</p> <p>・重要な教えの1つだと思つて、今後も期待したい。</p>									
				<p>学校関係者評価</p> <p>学校関係者評価委員の意見・提言</p>								

領域	自己評価の評価規準	評価	職員、児童、保護者のアンケート結果を合わせた考察を記入してください。	アンケート等対象者	A	B	C	D	学校関係者評価	
									評価	学校関係者評価委員の意見・提言
Ⅲ 心の教育（規律ある態度の育成）	9 ■ 児童は、先生や友だち、来校者に笑顔であいさつができるようになってきている。	B (B)	・あいさつについては教師の指導は継続して行っているが、数値として職員、児童、保護者すべてが低い。挨拶の必要性や達成感などを児童自身が感じていないのでは考えるため、とっかかりとして、良い挨拶ができる児童を称賛するキャンペーンなどを設けるとあいさつが全校に広がっていくのではないかと。理想のあいさつのモデルや映像などを児童会主体で作成し、手本として示すなどの、声掛け以外の手立でも必要ではないか。 ・これまでに醸成した心の教育を生かして、挨拶にも派生していくことで、挨拶の必要感やウェルビーイングなコミュニケーション能力を養っていく。	職員	20.8 (40)	54.2 (50)	25 (10)	0	A-1 B-6 平均 4.1 B	・子供と大人で評価に差があり、児童の意識の違いなのか、大人の評価が厳しいのか、この差はどちらの問題なのかを検討したい。 ・学校に来るたび、大きな声で挨拶してくれる。指導がされている。 ・相手に対して思いやりや敬う気持ちが根底にあって、優しい言葉遣いができるし、良い挨拶も可能になると思う。 ・来校した際、元気な挨拶をしてくれる。ただ、中学生になると急に挨拶ができなくなる。思春期になっても元気に挨拶できる土台が作れると良い。 ・挨拶ができる児童は増えてきていると思うが、それでも、全体を考えると少なく感じる。英語で挨拶できる子は増えた。 ・校内での挨拶はもちろんとして、近隣や来校の方と挨拶することの意義を伝えることが大事だと思う。
				児童	53.4 (66.5)	35.8 (25.1)	6.0 (6.6)	4.8 (1.8)		
				保護者	22.9 (53.8)	50.5 (36.8)	22.6 (8.0)	4.0 (1.5)		
	10 ■ 児童は、ていねいな優しい言葉遣いで、生き生きと自分の考えや思いを表現し、学習や生活ができるようになってきている。	B (B)	・言葉遣いに課題がみられる。教員・保護者ともにそう感じているため、学校や家庭と連携して言葉遣いについて引き続き指導していく必要がある。 ・学習において、対話中は、画面を見ながら話したり、学習の発表の時も端末が気になり、集中の力の低下など、端末や画面への意識が増え、人への意識が低下したのではないかと。	職員	12.5 (10)	75 (70)	8.3 (20)	4.2	A-1 B-6 平均 4.1 B	・教室での行動が生きていて、目が輝いている。 ・言葉遣いは家庭との連携が大切だと思う。親に正しい日本語を遣って子供の手本となしてほしい。 ・自分の考えや思いを表現できる児童が増えてきていると感じる。
				児童	53.8 (54.4)	35.8 (35.5)	6.5 (6.8)	3.9 (3.2)		
				保護者	42.9 (16.7)	46.7 (50.0)	9.2 (26.8)	1.2 (6.5)		
	11 ■ 児童は、約束やきまり、時間を守り、けじめのある態度が身に付いてきている。（廊下歩行・心を込めた清掃）	B (B)	・項目11番について、全職員で丁寧に細かく指導していく必要がある。時には、担任以外の先生に指導されることで、効果が出るのではないかと。	職員	42 (10)	79.2 (55)	16.7 (35)	0.0	A-3 B-4 平均 4.4 B	トイレ、廊下、階段がきれいに清掃されていて気持ちが良い。 ・人間の基礎となる規律や社会のルール等も家庭との連携が必須で、繰り返し指導していくことが大切。また、メディアやSNSの使い方も繰り返し言葉がけや指導が必要だと思う。 ・ルールをしっかりと守れる児童の育成にとても効果が出ていると感じる。
				児童	73.2 (61.5)	18.0 (33.3)	3.4 (3.6)	5.4 (1.6)		
				保護者	58.1 (25.9)	35.4 (56.5)	5.6 (15.5)	0.9 (2.1)		
	12 ■ 教育活動全体を通じた道徳教育、道徳科の授業の充実を図り、他者と共に生きるための基盤となる道徳性を養っている。	B (B)		職員	43.5 (16)	52.2 (79)	4.3 (5)	0.0	A-2 B-5 平均 4.3 B	・他者や友達への、いたわりや寄り添い等の気持ちを育てるには、まず、自分のことを好きになってほしい。 ・重要な教への1つだと思うので、今後も期待したい
				児童						
				保護者						
Ⅳ 健康・安全・体力向上	13 ■ 物アレルギーへの対応や食に関する指導、等の保健衛生に関する取組が充実するように実践している。	B (B)	・項目14番について、保健指導や避難訓練が充実していた。 ・むし歯などの予防は治療率100%を目指すのならば、小学校でも学校保健委員会で行ったような歯科医の話などで啓蒙するとよい。 ・次年度は、校内で行っているエビベン研修やさすまた研修などの研修の様子や、児童への歯科指導、交通安全教室の様子などの、学校の取組を保護者や地域に積極的に発信していく。	職員	65.2 (80)	30.4 (40)	4.4 (0)	0	A-1 B-6 平均 4.1 B	・児童、保護者と話し合っている。 ・アレルギーを持つ児童が増えていると思う。命に関わる事であるので、保護者との連携を密にして本人もアレルギーの知識を学んでもらうことが大切ではないかと。
				児童						
				保護者	42.0 (31.8)	54.1 (61.0)	3.3 (6.5)	0.6 (0.6)		
	14 ■ 感染症等やむし歯などの予防、けがの防止、交通事故防止・防災学習など健康や安全に関する指導や取組が充実するよう実践している。	B (B)	・項目15番について、児童の中では、持久走大会の廃止が大きく影響しているのではないかと。その中で、今年度行ったさわやかタイムの保護者公開は、児童もモチベーションを上げて取り組んでいたため、学期に1回など継続して行ったほうが良いのではないかと考える。 ・業間休みや昼休みなど、休み時間に外へ出る児童の減少も考えられる。 ・体育的な行事は、縮小傾向にあり活躍できる場が減ってきていることも理由として考えられる。	職員	69.6 (55)	30.4 (40)	0 (5)	0	A-2 B-5 平均 4.3 B	・食が大切なのでその源が口、歯であるので、治療率100%を目指してほしい。 ・感染症等の対策は、他の学校と比べてもしっかりとできてきていると思う。
				児童						
				保護者	45.1 (31.5)	50.7 (61.9)	3.6 (5.7)	0.6 (0.9)		
	15 ■ 児童が運動に親しみ、技能や体力を向上させる指導や取組が充実するよう実践している。	B (B)	・業間に「〇〇教室」を開催しているので、児童も喜んで参加している様子が見受けられる。	職員	39.1 (35)	60.9 (65)	0	0	A-1 B-6 平均 4.1 B	・児童の評価が高いので、今後も続けてほしい。 ・体力の維持・向上は今の時代大変難しいことなので、授業や休み時間等で工夫して向上を目指してほしい。 ・運動会の縮小や持久走大会の廃止で、保護者が児童の運動している姿を見る機会が減ってしまっているため評価しづらい。
				児童	60.7 (70.2)	33.0 (15.9)	3.0 (8.2)	3.3 (5.7)		
				保護者	30.1 (32.1)	54.5 (54.8)	13.1 (11.9)	2.4 (1.2)		

領域	自己評価の評価規準	評価	職員、児童、保護者のアンケート結果を合わせた考察を記入してください。	アンケート等対象者	A	B	C	D	学校関係者評価	
									評価	学校関係者評価委員の意見・提言
V 環境整備	16 ■ 安全・衛生・美化の観点から施設・校舎内外の整頓や整備は進められている。	B (B)	・項目17番について、不審者対応の鍵が設置され、安全面が強化された。 ・年度当初に、心を込めた掃除とどのようなものか、学級で確認する時間があるというのではないか。 ・学年掲示板や国語の研究、図工作品の展示など、様々な掲示物が今年度は充実していたと感じる。 ・次年度も継続して、児童の豊かな心情を育む環境を整えられるように引き続き取り組んでいく。	職員 児童 保護者	50 (42)	45.8 (58)	4.2 (0)	0	A-2 B-5 平均 4.3 B	・学校の教育環境は実に整備されている。関係の皆様方のご尽力に感謝。 ・ほろきの使い方、雑巾のかけ方等、家庭ではあまり行われていない掃除方法を学校で学ぶことは、児童にとって貴重な経験になると思う。 ・不審者等の安全対策はPTAとも連携し、強化していきたい。
	17 ■ 適宜、教室や廊下などの美化に努め、展示・掲示を行い、児童の豊かな心情を育む学習環境を整える実践に取り組んでいる。	B (B)	・校舎は古いけれど学校はきれい。と、感じられるような掃除を目指したいが、掃除方法の体系化よりは、心の方を育てて理想に近づきたい。	職員 児童 保護者	60.9 (40)	39.1 (60)	0	0	A-5 B-2 平均 4.7 A	・校内にたくさんの作品が掲示されていて、児童の活動や学校の取組が理解できる。 ・展示がよく考えられている。廊下や階段を上手に活用している。 ・ここから2年、廊下や階段の掲示物が見違えるほど充実している。子供たちの知的好奇心や学習意欲向上を狙った仕掛けはお見事である。 ・掲示物や作品展示などは、工夫が見られるし、興味をひく内容が多く感じられた。 ・災害や不審者への対応も力を入れてほしい。 ・校舎の清掃等、しっかりできていると思う。古い校舎のわりに、とてもきれいに保てていると感じます。 ・楽しみながら学びを施す取り組みや児童の作品を掲示することで、本人の自信にもつながる取り組みが評価できる。 ・作品掲示の仕方にも工夫がされている。
領域	自己評価の評価規準	評価	職員、児童、保護者のアンケート結果を合わせた考察を記入してください。	アンケート等対象者	A	B	C	D	学校関係者評価	
									評価	学校関係者評価委員の意見・提言
VI 保護者・地域との連携	18 ■ 学校は、ホームページや便りなどをとおして、積極的に保護者や地域に情報を発信している。	B (B)	・学校だよりに掲載している写真が充実していた。HPは、個人情報の観点で気軽にあげられないため、学校だよりの情報をより充実させるとよいのではないかと感じた。 ・年系の修正と同じように、学校応援の活動内容項目も精査する必要がある。また、活用までの手間が多い。 ・大きな変更（行事の縮小や通知表の変更など）があった場合は、その理由と根拠を1度ではなく複数回周知していくことが必要だと感じた。	職員 児童 保護者	62.5 (70)	33.3 (30)	4.2 (0)	0	A-4 B-3 平均 4.6 A	学校だよりで校内の様子ที่ わかり、良い。今後も続けてほしい。 ・学校だよりはカラーでフォントや濃さも見やすく良いと思う。 ・忙しいと思うが、もっと保護者や地域の方に来校してもらえるとよいと思う。 ・学校の取り組みを学校だよりなどで地域にも積極的に発信している。
	19 ■ コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を核とし、保護者や地域、学校応援団（PTA・おやじの会を含む）を活用する学校運営や教育活動に取り組んでいる。	B (B)	コミュニティスクールというものが何なのか。わからない保護者も多いのではないかと感じた。 ・地域との連携はとてできていていると思う。運営協議会は積極的に動いていただいている。連携は取り組みを継続できればよいと思う。	職員 児童 保護者	41.7 (65)	58.3 (35)	0	0	A-1 B-6 平均 4.1 B	・学校運営協議会が保護者に理解されていない、PTAと連携が取れていない、おやじの会は機能していない、学校運営協議会は核となっていない。 ・様々な活動が縮小されているが、誰のための組織なのかを考え、保護者との連携を深めたい。 ・今後も学校運営協議会として協力していきたいと思う。 ・コミュニティスクールというものが、わかりづらいと思う。 ・小中連携のコミュニティ・スクールへの取り組みなど新しい試みを評価する。
	20 ■ 幼児または生徒、地域の方（企業・団体）と児童が交流するなどの幼・保・小・中連携及び小中一貫教育に向けての教育活動に取り組んでいる。	B (B)	小中連携は、来年度から、小中一貫教育が始まるので、一層連携を強化できると思う。	職員 児童 保護者	47.8 (40)	52.2 (55)	0 (5)	0	B-7 平均 4.0 B	・小・中一貫教育に向けて連携が強くなるのは、子供たちにとって安心材料になるだろう。幼稚園・保育園との連携も強化してほしい。

【学校より】

保護者、地域の皆様には、今年度も上平小学校の教育にご理解・ご協力いただきましてありがとうございました。ご指摘いただきました点については、検討を加え、少しでも改善ができるよう、教職員一丸となり取り組んでまいります。



保護者の皆様のご意見から



日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。先日実施いたしました学校評価アンケートでは、貴重なご意見を多数お寄せいただきありがとうございました。

評価とともに、本校職員への労をねぎらうお言葉や、温かい称賛のお言葉をいただきありがとうございました。これらの言霊は、本当に職員力になりさらには、児童へ還元されていくというポジティブなスパイラルを生み出します。本当にありがとうございました。また、いただきましたご意見につきましては十分検討をさせていただき、必要に応じて改善を図って参ります。

皆様からの声を真摯に受け止め、学校教育目標「心豊かで思いやりがあり、自ら学ぶ健康でたくましい子」の育成、本校が目指す「笑顔と思いやりあふれ、児童一人一人が生き生きと活動する楽しい学校」づくりに向けて、取り組んで参ります。



Ⅰ 成果内容（教育活動・指導への満足、感謝）

○歯科指導に力を入れてくれている。家庭でも習慣化した。

→歯科指導への感謝のお言葉をいただき、教職員一同、大きな励みとなりました。今後も感染症対策を含め、子供たちが健康の大切さを自覚できる指導を継続します。お陰様で、治癒率が80%を超えるところまで来ております。ご協力ありがとうございました。歯科指導をはじめとする保健指導が家庭での習慣化に繋がっていることは、学校と家庭の連携の成果です。

○担任の先生がよく見てくれている、対応が早い、安心して通えている。

○先生方が優しく、子どもが楽しく通えている。

○子どもの体調不良やケガの際の対応が適切。

○優しい思いやりのある言葉が聞かれるようになった。

○子どもが学校を楽しんでいる。

→温かい励ましのお言葉に心より感謝申し上げます。担任の丁寧な見守りや体調不良時の迅速な対応、など、「安心して通わせられる」との声を多くいただきました。今後も児童が安心して過ごせるよう取り組んでまいります。担任や職員への感謝のお言葉をいただき、ご家庭との強い絆を再確認できました。一人ひとりの「成長の芽」を大切にする指導を追求し続けます。

○ICT 端末活用が進んでいて素晴らしい。

→本校の ICT 端末活用を高く評価いただきました ICT 端末を積極的に活用した授業や、自己評価による客観的な振り返りの取り組みは、子供たちの新しい学びの形として定着しつつあります。変化の激しい時代を生き抜く力を育む第一歩となっています。

○体育館に空調があることに感謝。

→5月から10月までの暑い時期の児童の運動量確保のためにフル活用しています。

○自己評価の取り組みは面白く、子どもが客観視できて良い。

一方で、次のようなご意見もいただきました。「行動の記録を自己評価を通知表に載

せる形式への違和感がある。自己評価と教師評価のズレが生じる懸念。アンケート用紙をそのまま通知表に入れるなど別形式を提案。」

→ご理解いただきありがとうございます。自己評価の導入により、子ども自身が自らの行動を振り返るよい機会となっています。大人との認知の差があった場合は、対話をすることで、児童本人の考えを知り、勇気づけや励まし、自己肯定感を高める、違う視点から自分を見つめる機会とする等の声掛け等の機会とし、信頼関係の構築や、何でも話し合える環境づくりに活かしていただけますようお願いいたします。また、アンケート用紙の活用等も含めよりよい方法をこれからも検討し続けて参ります。

2 課題・検討事項（全体に関わる内容）

○登下校中の危険行動（車道にはみ出す）への指導を求める。

→引き続き、指導してまいります。ご家庭でも合わせてご指導いただけるようお願いいたします。

○登校班でのトラブル等の対応についてです。登下校については家の責任であると、入学説明会の際にPTA会長のお言葉であったことを強く覚えています。何かあったらなるべくこちら側で対応していきたいと思っております。今後、対応が難しいトラブル等が出て来た際、どのようにしていったらよいのか、ご教示下さい。

→登下校につきましてご理解いただきありがとうございます。どうしても対応が難しいトラブルにつきましては、学校にご相談ください。一緒に考えていけたらと思います。

登下校の安全は最優先事項です。トラブルが起きないことが一番です。学校では、交通マナーについては安全指導教室等で継続的に、通学班の約束等は全体指導や班別指導等（学期に1回）を行っております。ご家庭でも社会のルールやマナー、交通ルール、友だちとの関わり方等、日頃からご家庭教育の中で御指導いただけますと幸いです。

○言葉遣いが悪くなった。乱暴な言葉が日常的に使われている。

→お子様の言葉遣いの変化にお気づきになってくださりありがとうございます。優しい言葉遣いが増えてきたという好評課もいただいておりますが、学校では豊かな語彙を増やし、自分の気持ちを丁寧な言葉で伝えることができるよう、学校課題研究としても取り組んで参りました。引き続き指導をしていきます。子どもは周りの環境で言葉を習得していきます。ゲームやインターネット等を通して使われる言葉、大人が使う言葉が子どもたちの学びの多くを占めています。相手を思いやる言葉の大切さを伝えていくとともに、温かい人間関係を築けるよう粘り強く指導してまいります。ご家庭でも引き続き豊かな言語環境を整えていただけますようお願い申し上げます。また、友だち関係等でも変化することがありますので、心配な時には担任までご相談ください。

○感染症流行前の予防策を学校全体で徹底してほしい。

→手洗い、うがい、換気等の指導及び取り組みを引き続き行っていきます。

○ICT・タブレット関連での使いにくさ、宿題、ルール等について。

・ドリルプラネットの漢字学習における使いにくさがある。

→業者に改善をお願いしています。

・宿題がオンライン中心で使いにくい。進め方もわかりにくい。家でYouTubeを見てしまう、ルールが曖昧。宿題がない日も持ち帰るため家庭対応に困る。毎週タブレットの宿題がプラスであってもよいと思います。荷物が重たくなりがち。

→上尾市教育委員会では、ICT端末の毎日の持ち帰りを推奨しています。ICT端末はお子様の学習進捗状況に応じて、自主勉強等にもルールを守った上で活用していかれたらと考えています。宿題の内容や活用方法について、丁寧に説明していくとともに、年度初めに児童会で決めた使用のルールを全校で指導していきます。（ご家庭にも配信メールでルール内容を送らせていただきます。）ご家庭での使用時間や使用場所については、ご家庭内で御指導いただけますようお願いいたします。本校では、ICT端末活用と、従来型（プリント等）のよさを鑑みて学びが進めら

- れるよう進めていきます。荷物の量については引き続き置き留意していきます。
- ・授業中に大画面がずっとついているのをやめてほしいです。
 - 改善に努めます。
- ・指定の感染症で数日以上休む、などのときに、受けられない授業分のフォローを ICT 端末を利用して受けることができたらいのと思う。
 - 現時点では、体調を回復させることに専念してほしいと考えています。授業配信や授業録画やオンデマンド等につきましては現時点では体制を整えることが難しい状況です。将来的にはそのようなことが可能になる時も訪れると予想します。
- スイスイ日課が復活して残念に思っています。休み時間が5分とは。子どもたちがかわいそうです。
 - スイスイ日課を活用しないで済むよう、検討を重ねてまいりましたが、2、3学期の水泳学習の時間との調整、授業時数確保、委員会活動・クラブ活動時間の確保、下校時刻を遅らせない等の理由のためにどうしても、水曜日をスイスイ日課にする必要がある状況です。休み時間につきましては、5分休み、15分休みをうまく使えるようにしていきます。子どもたちの中でも意見は様々で、「スイスイ日課は早く帰れるから、毎日スイスイ日課がいい」という意見も特定数いるようです。

○ 学習・宿題について

- ・「個」に寄り添う学習指導の充実を図ってほしい。
 - 「個別最適な学習」の実現を目指し、指導方法の工夫・改善を重ねていきます。
- ・宿題の量・内容がクラスで違いすぎる。高学年の宿題が自主学習のみで偏る。
 - 学年で話し合っって偏りのないよう宿題を出していますが、すべて同じというわけにはいかないという現状もあります。できるだけ均衡が図れるよう学年で検討していきます。
- ・教員を複数にして欲しい。器械体操の苦手な子供だけを集めて指導監督のない状況での授業には、不安を感じます。
 - 体育館の中で、1クラス1名の教師による通常の授業体制の中で、教師の立ち位置や指導方法の工夫改善を進めてまいります。全クラスの体育の時間において教員人数を増やすことは叶いませんので、ご理解の程お願い申し上げます。
- ・水泳指導が外部のスイミングスクールになるが、真冬に実施となるので、女子は髪が乾かずに風邪をひかないか心配です。時期を検討頂きたい。
 - 教育委員会・施設からの指定期日となっております。学校としても同じ心配をしておりましたが、教室・バス・スイミングの空調管理をしっかり行うことにより、今年度風邪をひいたり髪の毛が乾かなかったり等の困り感は児童の声からは届かなかったことをご報告させていただきます。ご家庭でも、髪の毛を短く整えてくださったり、タオルキャップをご用意くださったりなどのご協力をしていただき、大変助かりました。ありがとうございます。来年度も同じ時期になる予定でありますことをご了承いただけましたら幸いです。

○行事・学校運営

- ・競技ばかりで運動会からお遊戯と呼ばれるものや鼓笛がなくなったのが寂しい。今後も縮小したままなのか。
 - 体育の学習も含め、学校で行われる全ての行事や教科については、学習する内容が学習指導要領に定められています。それらにのっとって教育活動が行われているとともに、暑さによる運動禁止日の増加、授業時数削減（文部科学省発）による練習時間の確保の難しさがあります。運動会の練習は決められた体育の授業時間数の中で行われています。以前は余剰時間が多くあり、その時間を運動会の練習時間に活用していましたが、現在は余剰時間がほとんどない状況です。また、学習指導要領の示す内容と、教育活動の合致及び精査を行いながら進めています。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。
- ・持久走大会はぜひ実施してほしい。持久走もなくなり、運動に関して疎かにしている気がする。
 - 形を変えて、児童自らが目標を設定し取り組む姿を公開させていただいてお

- ります（朝のさわやかタイム等）。来年度も今年度同様の形で実施させていただきたいと考えております。
- 運動に関しては、生涯に渡り健康な身体づくりにおいて大変重要であるとしてとらえております。限られた学校の教育活動時間の中で、子どもたちの運動量の確保や運動の楽しさを味わわせられるように、「体育授業の工夫改善」「さわやかタイムでのタイム走や縄跳びでの体力づくり」「縦割り班活動での外遊び」「休み時間の運動教室（キャッチボール教室・鉄棒教室・跳び箱教室・バスケット教室・ランニング教室等）」等、体育部の教職員中心に研究や実践に努力しています。また、外遊びの奨励もしています。
- ・ 行事が簡素化され、経験値が減っている。
 - 本校では豊かな体験活動も重点において計画実施しております。行事だけではなく日々の学習活動の中で様々な体験や人々との出会いにより、子どもたちの豊かな感性を育てていくことを目標としています。ご理解賜れば幸いです。また、行事内容の変更につきまして、児童の安全、気候変動（外での活動が禁止になる熱中症アラート発令日の急増）、物価高騰、児童数減、学習指導要領改訂、教育課程（授業時数）改訂等様々な要因がございまして、児童の健康・安全、活動内容の教育効果等を熟考し、学校運営協議会とも協議をした結果でありますこと、ご理解賜れますようお願い申し上げます。
 - ・ 授業参観が減り、校内の様子が分からない。様子を見る機会が1学期と3学期に偏っているように感じる。
 - 来年度は2学期の「上平っ子コンサート」の日を学校公開日として、公開する予定です。また、学校は開かれた学校を目指しておりますので、参観のご希望がございましたら、いつでもご相談ください。

○害虫、空調故障、エアコン未設置教室があるので改善してほしい。

→害虫は発見次第駆除しております。

→施設の老朽化や設備面でご不便をおかけし、申し訳ございません。修繕や環境改善については、教育委員会施設担当課に連絡し迅速に修繕してもらうようお願いしています。校内でできることは、優先順位をつけながら着実に対応してまいります。

→エアコンに設置は、市の予算により、上尾市全体の小・中学校で公平順番に設置が進められています。特別教室にも数年かけて順次設置される予定です。

学校でできることは全力で取り組んでまいります。

多くの貴重なご意見をありがとうございました。保護者の皆様には、「チーム上平小」のメンバーとして、学校改善のためにこれからもどうぞご理解ご協力、お力添えの程どうぞよろしくお願い申し上げます。

保護者・学校・地域が心理的安全性のもと、課題についてポジティブに話し合い、協力したり、理解したり、解決していく姿を見て、子どもたちはウェルビーイングな社会の担い手へと育っていきます。